

## 北海道札幌市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	年間来客数 【83,8.4,8.9】	2019年 1,526 万人	2021年 789 万人			長期目標は今後検討	—
2	SDGsをテーマとした北海道内連携自治体数 【11.3,11.7,11.a】	2020年 3 自治体	2021年 4 自治体			2030年 10 自治体	40%
3	住んでいる地域の住環境に満足している人の割合 【3.4,3.6,11.2,11.7】	2019年度 76 %	2021年 69 %			長期目標は今後検討	—
4	市内における温室効果ガス排出量 【7.2,7.3,13.1,13.3】	2018年度 1,155 万t-CO2	2021年 データなし 万t-CO2			2030年度 537 万t-CO2	—
5	市内におけるごみ排出量 【12.2,12.6,12.8】	2019年度 60.2 万トン	2021年 56.7 万トン			2027年度 52.3 万トン	108%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	都市のサステナビリティの向上を通じた、国際観光・MICE誘致に向けた取組	GDS-Index達成度	2019年 51 %	2021年度 52 %			2023年 55 %	95%
2	持続可能な消費形態の確保を通じた、北海道内の経済循環に向けた取組	札幌市民のフェアトレードの認知度	2019年度 41.2 %	2021年度 51 %			2023年度 50 %	102%
3	日本一の断熱性能を誇る住宅の普及を通じた、QOLの向上に向けた取組	新築戸建住宅の「札幌版次世代住宅基準」スタンダードレベル以上達成率	2018年度 20.3 %	2020年度 39.1 %			2022年度 22 %	178%
4	「歩いて暮らせるまちづくり」を通じた、QOL向上に向けた取組	住んでいる地域の住環境に満足している人の割合	2019年度 76 %	2021年度 69 %			2022年度 95 %	73%
5	札幌市の脱炭素化に向けた都心の持続可能なまちづくり	低炭素で持続可能なまちづくりを誘導する制度の構築	2020年 制度の検討	2021年 制度の検討			2023年 制度運用	—
		低炭素で持続可能なまちづくりの普及啓発	2020年 普及啓発プログラムの検討	2021年 普及啓発プログラムの検討・展開（動画作成、フォーラム実施検討）			2023年 普及啓発プログラムの展開	—
		低炭素で持続可能なまちづくりに寄与するエネルギー利用	2020年 再生可能エネルギー由来電力の利用拡大を進める地域新電力事業の検討	2021年 再生可能エネルギーの導入拡大の手法の検討（地域新電力事業化見送り）			2023年 地域新電力事業による再生可能エネルギー由来電力の活用	—

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

<p><b>(1) 5「市内におけるごみ排出量」</b> 2019年度以降、最少となりました。減少した主な要因は、新型コロナウイルスの影響のほか、市内で受入可能となったことを受け令和3年4月から廃石膏ボードの山口処理場での受入を停止したことにより事業ごみが減少したと考えられます。</p> <p><b>(2) 5「低炭素で持続可能なまちづくりに寄与するエネルギー利用」</b> 再エネ価値取引市場開設など国の制度見直しの状況を鑑み、地域新電力の事業化を見送り。再エネ導入拡大の手法について、地域新電力も手法の1つとして、他の手法を含め継続して検討を実施。</p> <p><b>(3) (2) 3「新築戸建住宅の「札幌版次世代住宅基準」スタンダードレベル以上達成率」</b> 市民や事業者の意見を踏まえた補助制度の運用等により、着実に高断熱住宅の普及が進んでおります。今後は、さらに高い断熱性能の住宅の普及を促進していきたいと考えております。</p>
--